

ROTARY INTERNATIONAL



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: HIDESHIGE MINEMURA

OFFICE: DAI-NI NOMURA BLDG.
ADDRESS: 56 BINGOMACHI 2-CHOME, HIGASHI-KU OSAKA 541, JAPAN
TEL.: 06-227-1366
CABLE ADDRESS: ROTARINTERMINE OSAKA

No. 14 Jun. 30th. 1975

Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

William R. Robbins

各クラブ会長並びに幹事殿

一樹の下 一河の流れ

—1974~75年度 思い出の奉仕に感謝!

ガバナー 峯村英薫

6月17日、平井次期ガバナーもお元気で帰国され、直後21日開催の地区協議会には、早くも Ernesto Imbassahy de Mello R.I.次年度会長のメッセージをお伝えいただき、来るべき、Rotary年度への地区奉仕の準備が整いましたこと、ご同慶に堪えません。

いよいよ本6月30日、私どもRotarianとして生涯最高の奉仕の一年が終了の鐘を大きく鳴らしました。私はこの機会にWilliam R. Robbins本年度R.I.会長の温かいご指導に対し心からの感謝を捧げると同時に、年を共にしてご奉仕いただいた各クラブ会長、幹事の皆さま、終始ご支援下さったバスト・ガバナー、地区各委員会委員各位、ならびに地区内全ロータリアンとそのご家族に対し、この最終の月信を借りて厚く厚くお礼を申し上げさせて頂きます。

顧みますれば、私どものこの1974—75年度は、ロータリー創立70周年に当り、Renew the Spirit of Rotary, ロータリーの精神昂揚に決意をあらたにした歴史的年度でありました。地区としても、現R.I.会長、現R.I.事務総長の来訪を迎えた

昨年8月、及び11月の夫ぞれの感激は今も忘れがたいものであります。一樹の下に宿り、一河の流れを汲むは浅からぬ宿縁とされております。曾つてない困難な時代に取組んでのこの一年でありましただけに、ご同様感無量なものがあると存じます。

最終号としての本月信には、地区各委員会の活動報告が寄せられております。私は、皆さまと共に、最高の敬意と感激をこめて、その一行一行を読み返したい思いであります。

先ずロータリーの建設面では、地区内72のクラブは大阪平野、大阪住之江、串本、和歌山西、さらに設立準備中の海南東を加えれば77のクラブ数に達せんとし、会員数も、大幅な経済後退のなかで4500をはるかに越えることが出来、一方ローターアクトも2クラブを加えて13R.A.C.に、インターアクトも1クラブを加え6I.A.C.と一歩前進を逐げ、Robbins会長の期待にもいささか応えることが出来たかと存じます。各奉仕部門共、一貫して活発な活動が展開され、新設の環境資源委員会をはじめ、財団推進のRotarian

当りS35以上獲得により奨学生活動に更に前進が確実になったこと、その他成果は目覚ましいものがあり、研究グループ交換に於けるカナダへの派遣成功に続いて、英国第122地区よりの受入れチームに対する充実した活動が、次年度遣英G.S.E.チームの成功につながるなど、各委員会の活動はまさに特筆すべきものがあつたと存じます。高野山大会の成功をふくめ、私の微力にもかかわらず、皆さまと共に明るく愉

やかな一年間を過し得ましたことに対し、感謝のことばもございません。

公式訪問、I.C.G.F.その他あらゆる機会を通じて、お世話を頂きましたこの一年を生涯の思い出に、改めて奉仕と友愛を誓う一人のロータリアンとして、皆様と共に進むことにいたします。

皆さまの限りないご幸福とご健康をお祈りしてごあいさついたします。ほんとうに有がとうございました。

地区各部門・各委員会活動の概況

地区指名委員会

1974年12月16日、委員会を開催、1976～77年度国際ロータリー第366地区ガバナー・ノミニーの選出をはかり、全員一致大阪北ロータリークラブ会員井上猛君を推薦した。越えて75年1月15日ガバナー月信第8号を以て地区内に告知した。しかし期限の2月28日までに他に候補者の推薦がなかったため、3月15日被指名者宣言を行った。

ところがたまたま同君は健康を害し、3月末に至り辞任を申し出でられた。よって直ちに指名委員会全員会合の上、和歌山ロータリークラブ会員藤沢元雄君を選出、同君の承諾を得て、4月23日これを地区内に告知した。期限の5月8日までに他に候補者の推薦がなかったため、5月9日地区大会に於いて、藤沢元雄君が1976～77年度国際ロータリー第366地区ガバナー被指名者たることを宣言した。

意義ある業績賞委員会

1974年10月31日を以て締切られた「意義ある業績賞」応募10件について11月19日委員全員審査の上、うち5件がガバナーに報告された。よってガバナーは慎重なる検討の結果、田辺ロータリークラブの「救急指定ポイント」設置の奉仕活動を、受賞候補として国際ロータリーに申請した。

1月2日に至り、中央事務局より本件に授賞する旨の通知あり、5月10日地区大会の席上これ

を表彰して、賞状を贈った。

会員増強 職業分類 委員会

A. 会員増強

期初、各クラブから本年度、増強目標の報告を受けたが、これによると地区内平均では10%増が予定されたので、この目標達成に努力を傾注した。

ところが	1974年7月1日	4,349名
	1975年6月30日	4,590名
	うち新クラブ結成	114名
	差引 純増	127名
	増加率	2.9%

であった。但し、総数では5.54%の増加となる。

B. 職業分類

前年度に緑色表紙の「ミドリ・職業分類表」を完成したが、本年度は引続きこれを増補改訂する作業を行い、5月に印刷を完了した。

本改訂版は「クリーム・職業分類表」として、6月21日地区協議会の席上地区内に配布した。各クラブは職業分類表作成の参考資料として、これを有効に利用されるようお願いする。

広報委員会

当初、在阪の新聞5社（朝日、毎日、読売、日経、サンケイ）、放送5社（朝日、毎日、読売、関西、NHK）にロータリーの専門係を設置されるよう依頼し、これが実現を見た。